

オプトアウト

ラモトリギンによる薬剤性過敏症症候群 (DIHS) と他剤による DIHS の比較検討

- 研究の概要

奈良県立医科大学皮膚科は、「ラモトリギンによる薬剤性過敏症症候群 (DIHS) と他剤による DIHS の比較検討」に参加しています。昭和大学皮膚科が、この研究の代表研究施設で、他にも数施設が参加しています。この研究に、当院皮膚科医師が、薬疹 (薬剤が原因と考えられる発疹) を発症された患者さんの診療情報の一部を提供しますが、患者さんの個人情報 (個人が特定できる情報) は含まれません。

- この研究は、本学の医の倫理審査委員会の承認および学長の許可を受けており、実施承認後から 2021 年 3 月 31 日まで行われます。
- 2008 年 1 月から 2021 年 3 月までに当院と協力施設で DIHS と診断された患者さんで、本研究に同意いただける方に参加していただきます。
- 白血球数、白血球分画 (異型リンパ球含む)、血清 LDH 値、異型リンパ球、肝酵素、血清 TARC 値、DLST の結果、発症までの内服期間を研究に用います。
- 一旦同意した場合でも、あなた (または、あなたが代わりをつとめる提供者本人) が不利益を被ることはなく、いつでも同意を取り消すことができます。
- 研究機関の名称及び研究責任者の氏名
奈良県立医科大学皮膚科 研究責任者 小豆澤 宏明
- 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。その場合、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。その場合は奈良県立医科大学皮膚科小豆澤 (あずきざわ) へお問い合わせください。

連絡先 : 0744-22-3051 (内線 2337)